

2021年1月13日

国会議員の皆様

WeNeedCulture

(演劇緊急支援プロジェクト/SaveOurSpace/SAVE the CINEMA)

第二次緊急事態宣言に対する緊急要望

平素より文化芸術分野の活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年2月、新型コロナウイルス感染症への対応として、政府よりイベント等の開催自粛の方針が打ち出されて以来およそ一年に渡り、あらゆる文化芸術の担い手は、その規模の大小を問わず、感染拡大防止のための活動自粛を他分野に先んじて行って参りました。

第一次緊急事態宣言解除後には、各々でガイドラインを策定、独自に実証実験を繰り返し、分野を超えて情報共有をし、現場では科学的根拠に基づき徹底した感染防止策を施してきました。その結果、全国の映画館ではこれまでに一件の感染事例も報告されておらず、劇場やライブハウス/クラブでも昨年7月以降、クラスターは発生しておりません。

その一方で、《演劇・音楽・映画》を始めとする、あらゆる文化芸術の分野は、コロナ禍の長期化により大きな経済的打撃を受けています。既に多くの団体・個人は事業継続困難な状況に陥っており、今後その数が増えていくことは想像に難くありません。さらなる制限強化は、文化芸術の存亡にかかわる危機的事態だと、当団体は捉えています。

今般の感染拡大の状況下から、第二次緊急事態宣言が今月7日に発令されました。それに伴い、午後8時での閉場が法律によらない「働きかけ」として呼びかけられています。この「働きかけ」は、ライブハウス/クラブの全面的な営業停止、演劇の夜公演の中止、映画館のレイトショー上映の中止を意味します。演劇においては50%、映画では25%の営業時間の短縮がそのまま売上の減少に直結します。こうした文化施設に携わる者たちの存亡にかかわる問題が、法律にもよらず、何らの補償の提案もないままになされていることを、私たちは当事者として看過するわけにはいきません。

つきましては、これまでの感染拡大防止対策の実績と、困窮する現況もふまえ、以下のとおり、緊急に要望いたします。

1. 固定費の一定割合に相当する額の給付など、使途を問わない形での補償を行ってください。
2. 中止した公演の費用や時短営業による売上減など、売上の減少に対する補償を行ってください。
3. 第三次補正予算に加え、公費を支出する形での「文化芸術復興基金」を創設してください。
4. 持続化給付金に代えて、より煩雑な手続きを伴わない給付金を支給するようにしてください。

私ども WeNeedCulture は引き続き、感染拡大防止対策に万全を期し、文化芸術を愛する皆様に安心してご来場いただける環境を整え、日本の文化芸術の灯を絶やすことのないよう、発展をさせていく所存です。どうぞ現状を鑑み、ご理解ご協力を賜りますようお願いを申し上げます。

末筆ながら、コロナ禍収束に向け最前線で昼夜尽力されている医療従事者の皆様、政府・自治体の関係者の皆様には心より御礼申し上げます。

以上